

透明・半透明袋 利用期間終了

町指定ごみ袋の不足に伴い、一時的に燃やせるごみ袋（青色）の代わりに市販の透明・半透明の袋を利用しても良いことになっています。

利用期間は令和8年9月30日（水）までとなっており、終了が近づいてきています。

※下通り町内会管内は9月29日（火）で終了です。

現在、町指定ごみ袋の供給量は回復しており、利用期間の延長は無さそうです。

10月以降は透明・半透明の袋は利用できませんので、ご注意願います。

側溝にごみを流さないで

町内には雨水を排出するために、側溝が張り巡らされています。

多くは蓋がされていたり、暗渠となっていますが、下通り町内会の5～7班と2班の辺りは、蓋が無く、目で流れが確認できる状態です。

先日、側溝の底に幾つものホタテの貝殻を発見しました。

上流から流れてきたものかもしれません。ですが、少なくとも下通り町内会の皆さんには、側溝に物を捨てることの無いようにお願いします。

側溝の水は川へ排出され、最終的には海に到達するのです。ごみを川や海に捨てることと同じなのです。

なんじゃら楽団ってご存じですか？

皆さんは、「なんじゃら楽団」ってご存じでしょうか？

先日、北海道新聞にも掲載されていたので、読まれた方もいらっしゃるかとは思いますが、簡単にご紹介させていただきます。

代表の多田恵美さんが中心となり、病を持つ人たちが集まり、2017年に3名で「がらくたバンド」を結成し、活動を始められました。

現在、七飯町その他、函館市や北斗市の施設などからの依頼を受け、コンサートを行っています。

「がらくたバンド」からスタートし「すっこけ一座」を経て、現時点では「なんじゃら楽団」と「すっこけ楽団」と二つのネーミングで活動していますが、どちらも同じメンバーです。

メンバーは6名で、楽器担当、歌担当、踊り担当、笑顔や拍手担当がいるそうです。

歌や演奏のほかに、紙芝居、脳トレ、心がスカッとする音楽療法などで、会場全体で楽しむコンサートを作り上げています。

歌や演奏は、演歌や昭和歌謡、ジャズに童謡、往年のヒット曲や小さなお子さんも喜ぶような楽曲など、幅広いジャンルとなっています。

下通り町内会でも、「なんじゃら楽団」さんをお招きして、コンサートができないかと業務部が中心となり画策中です。コンサートができるようでしたら、町内会だよりの次号以降でお知らせいたします。

編集後記 側溝の記事を書いている思い出したのですが、収集されなかった発砲スチロールの横に「ホタテ」とマジックで書かれていました。まさか同一人物ではと一瞬思いましたが、偶然でしょうね（笑）